



山容を溶く

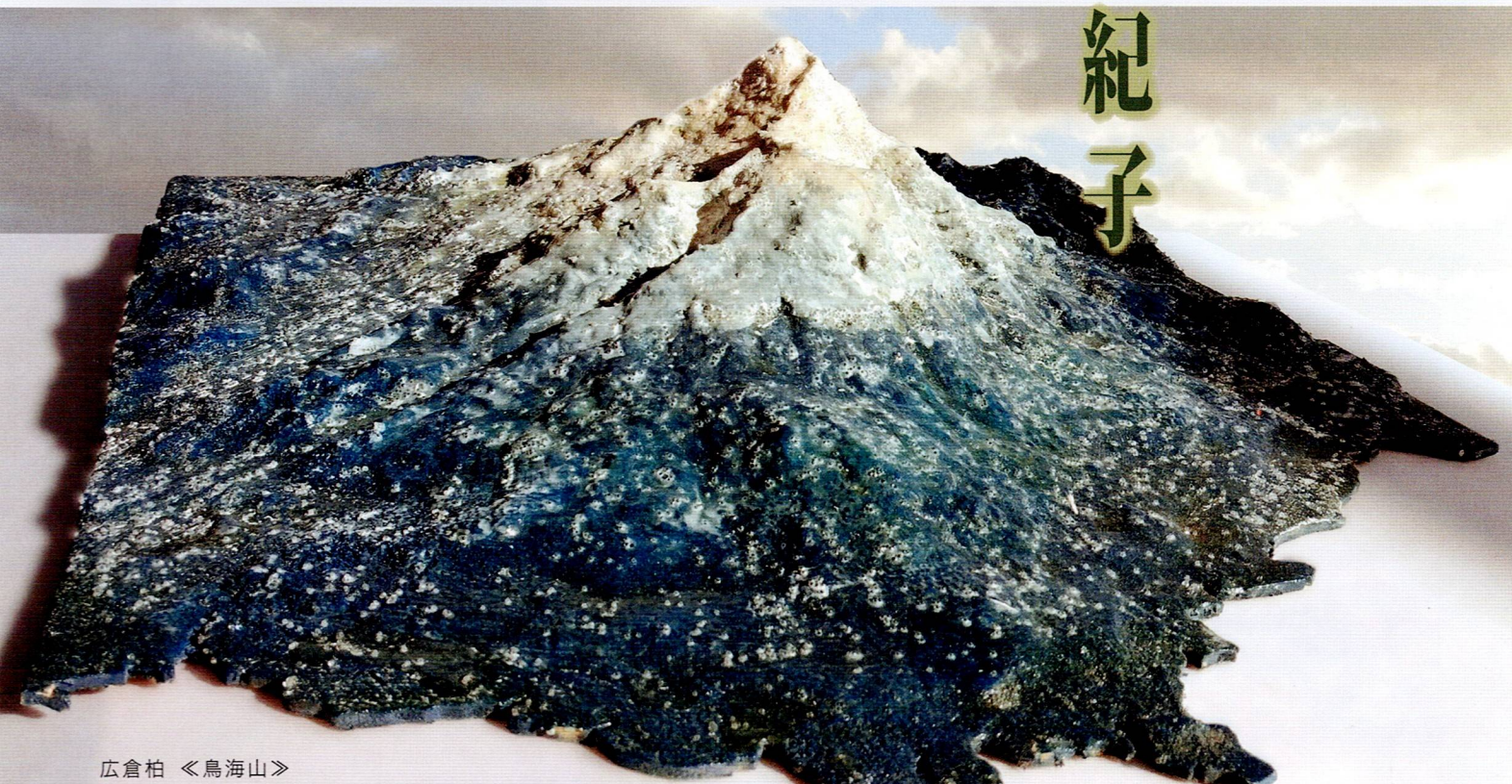
さんようをとく

木山由紀子 《月山葉山鳥瞰図》(部分)

木山由紀子
ひろくらはく
広倉柏
ふたりてん
二人展

令和6年 12/27(金) - 令和7年 2/18(火)

会場：最上川美術館 企画展示室
休館日：12/29-1/3, 1/8, 15, 16, 22, 29, 2/5, 12
開館時間：午前9時～午後5時 (最終入館午後4時30分)
入館料：大人 300円 高校生以下無料



広倉柏 《鳥海山》

山容を溶く 木山由紀子 広倉柏 二人展 12/27(金) - 2/18(火)

令和6年

令和7年

多くの山々がある山形県。一人一人に日常に溶け込む身近なふるさとの山があるのではないのでしょうか。表現の在り様は異なりますが、山の姿・山容を、緻密に積み上げるように制作を行う2名をご紹介します。

木山 由紀子 (きやま ゆきこ)

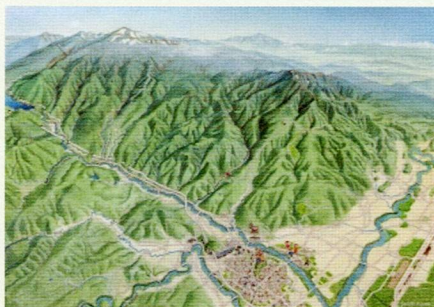
イラストレーター。

1949年 山形県遊佐町出身

現在 山形県酒田市在住

長い間、主に自治体や企業の依頼を受けてパンフレット・ポスターや各種冊子に掲載するイラストを手掛けてきました。近年は山の鳥瞰図や平野から見る山々の展望図を描く仕事が大半になっています。

描く対象の山をくまなく歩くことはできないのですが、登った山も登れなかった山も地形図から等高線を読み、頭の中で立体化する作業から始めました。地形図の上で山々を歩き、空を飛び、複雑な地形を紐解いていく作業は苦悩の時間であり、同時に幸せな時間でもありました。



《月山葉山鳥瞰図》



《月山西面》

冊子『山歩きの雑記帳』に掲載された鳥瞰図と、日本山岳会山形支部により企画制作された『学校から見える山』の原画から抜粋して展示しました。壮大な山を眺めながら歩く気持ちの晴れやかさを紙の上で得ることはできません。それでも、展示した絵を眺め想像の中の山歩きをお楽しみいただければ幸いです。

木山由紀子



《朝日連峰・月山・葉山展望図》 左から(左)(中)(右)

広倉 柏 (ひろくらはく)

1968年 寒河江市に生まれる

1987年 寒河江高等学校卒業

1993年 横浜国立大学経営学部卒業

現在 河北町在住

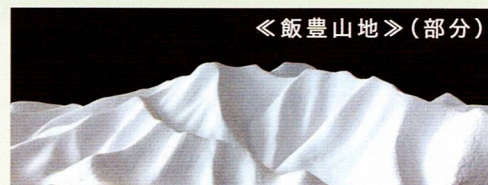


《吾妻山》(部分)



《朝日連峰》

《飯豊山地》(部分)



【個展】

- 2018年「摩雲展」
中本誠司現代美術館(宮城県仙台市)
- 2019年「摩雲展2」羽黒芸術の森・今井アートギャラリー(山形県鶴岡市)
「Shapes Of Things」中本誠司現代美術館
- 2020年「Shapes Of Things 2」
秋保の杜・佐々木美術館&人形館(宮城県仙台市)
- 2021年「Shapes Of Things 3」中本誠司現代美術館
- 2021~22年「Assorted Artworks 2017-21」最上川美術館
- 2022、23、24年「摩雲展」(定期展示会) 葉山市民荘(山形県寒河江市)
- 2022年「Shapes Of Things 4」
SARP 仙台アーティストランプレイス(宮城県仙台市)

【グループ展】

- 2022年「Mission 2」GALLERY ART POINT(東京都中央区)
- 2023年「摩雲展SP~奥羽山脈峯渡」中本誠司現代美術館
(写真家・鈴木茂氏と)
「横浜赤レンガInternational Art Exhibition」
横浜赤レンガ倉庫(神奈川県横浜市)
- 「アートで、ぱ!ぱ!ぱ!」フラワーショップ武田(山形県村山市)
(画家・山口貴利氏と)
- 2024年「ミナミハラ・アートウォーク」(山形県米沢市)
「アートギャラリーもがみ展2024秋」
アートスペース富翔(山形県最上町)